

## 水の大切さ

龍郷町立赤徳中学校 一年 別府 優里

私は水が好きだ。海や川の中を魚が泳いだり、葉が流れていたり、葉に朝つゆがつきキラキラ光ったりするのを見るのが好きだ。また、お店や知り合いの家に行き、こいや金魚が優がに泳ぐ姿を見るのも、自然と心が落ち着いて好きだ。けれど、私は水の大切さを理解しているようで、あまり知らなかった。そんな私が、水のことについて関心を持ち始めたのは、災害をテーマにした映画やドラマを見てからだ。私が見てきた映画やドラマの中には、水の大切さを教えてくれるものがあった。そのドラマの人達は、災害にまきこまれ水も食料も少しだけの状態でどのようにして生き残るかという物語をえがいていた。すると、その人達はたきを見つけた。そして水を皆で分け合って飲んでいた。人々の表情は明るく希望にみちあふれていた。私はそんな人々を見て水の大切さについてまた一つ知るこ

とができたと感じた。だが、私が本当に水が大切だと感じたのはこの後だった。

私は塾に通っていた。その塾は、学校が終わってから夜八時までであった。だから、私は、お腹がすくだろうと思い食パンを一枚食べてから出かけた。すると約一時間後くらいからお腹が痛くなり始めた。父や母にお腹が痛くなった時は、水を飲めと聞いていたので、休み時間に水筒を探した。だが、水筒は家に忘れてきてしまっていた。そのうえ、その日は塾初日だったため、どうしたらいいのか分からず、不安でさらにお腹が痛くなった。私は必死に我まんした。そして塾が終わった。終わるとすぐに教室をとび出し、むかえに来てくれた母のもとへ向かった。母の顔を見ると安心したのか、なみだが出てきた。家に着くと、すぐに白湯を飲んだ。すると、お腹の痛みは治まった。家族に話をすると、原因は、出かける前に食べた食パン一枚だった。食パンは水分を吸いこみやすいから、水を飲まず

に食パンを食べた私は体の中の水分を吸い取られてしまったのだという。それ以来、食パンなどパンを食べる時には、水分をかかさずとるようにしている。

また、パンだけではなく、水を飲まない人間は三日で死んでしまう。そして、水は限られた資源だということも理科で習った。その限られた資源の水はなくなると、とてもこまる。それは人間だけでなく、他の生き物も同じだ。私は、その資源を守るために、少しでもできることはないかと考えた。少しでも自然を守るためにこうけんしたいと思ったからだ。

まず私が日常生活で、できることは、シャワーの水を出しっぱなしにしないことだ。私は、お風呂でシャワーを浴びていると、ついぼーっとしてしまい、十分間ぐらい水を出しっぱなしにしてしまうことがある。その十分間で、どれだけの水を使っているかなんて、考えたこともなかったからだ。調べてみると一

ぱん的なシャワーの湯量は、一分間で約十リットルだということが分かった。つまり私は百リットルもの水を意味もなく使っていたということだ。災害の場合、一日に必要な飲料水が一人あたり三リットル。要するに私は災害時の約三十三人分の水を無だにしてしまった。いたということだ。調べてみて改めて、お風呂に入る時にぼーっとする時間をなくそうと感じた。そうすることで、水の使用量が少なくなる。そして、のぼせたり、頭痛がしたりという体調不良もなくなるのだ。

水を守るために、まずは私や家族から工夫して過ごしたい。そして、どんどんその輪を広げていきたい。これが私の「水を守る」ための決意だ。